

鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について

県民参画協働課

「鳥取県令和新时代創生戦略」に掲げる政策をはじめ県政全般の満足度などについて県民にアンケートする「鳥取県の政策に関する県民意識調査」(第6回)を実施しましたので、その結果について報告します。

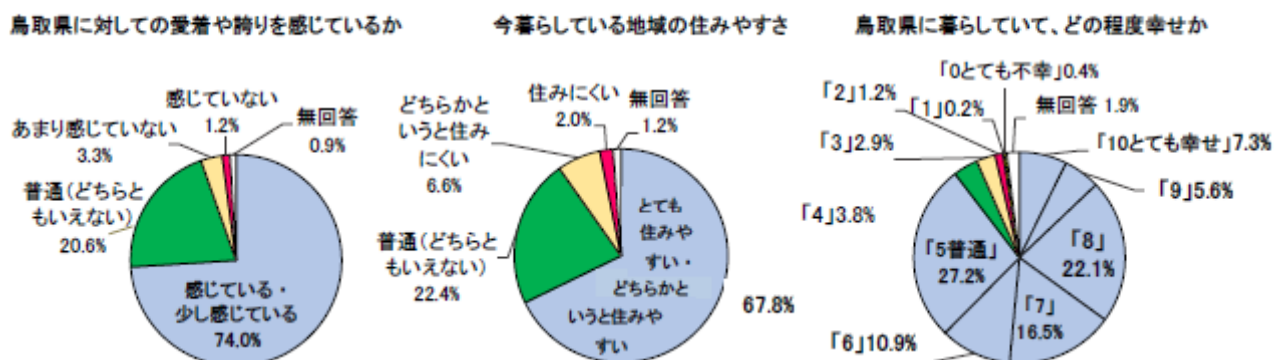
1 調査概要

- (1) 目的 県民の関心や意向、要望等の意識を把握するとともに、継続調査をすることで、その意識の変化を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活用する。
- (2) 調査対象 県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000名(住民基本台帳に基づく無作為抽出法)
- (3) 調査方法 郵送(回答は調査票の返送又は電子申請サービスによる回答のいずれかを選択)
- (4) 調査期間 令和3年7月30日から8月31日まで
- (5) 回答数 1,644名(1,644/3,000名 回答率:54.8%(令和2年度比0.1ポイントアップ))

2 結果概要

I 鳥取県の住みやすさ

- ①「鳥取県に対しての愛着や誇り」には、74.0%の人が「(愛着や誇りを)感じている」と回答し、「今暮らしている地域の住みやすさ」には、67.8%の人が「住みやすい」と回答した。
- ②「鳥取県の暮らしに関してどう思うか」10項目について聞いたところ、「そう思う」との回答は「豊かな自然環境に恵まれている」が89.2%で5年連続で最も高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が69.6%であった。
- ③鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか(10段階評価、10が「とても幸せ」)を聞いたところ、「5」(普通)が27.2%、次いで「8」が22.1%で、「5」以上の回答は89.6%と全体の約9割を占め、前年度(91.3%)に引き続き高い割合となった。



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度

(1) 鳥取県が実施している施策等に関し、①～③のテーマごとに満足度(5段階)及び今後の優先度(重要度が高い取組を3つ選択)について質問した。

①豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

7つの取組について聞いたところ、「農業の活力増進に関する取組」の満足度が34.5%と最も高く、今後優先すべき項目は「農林水産・畜産の若き担い手育成への取組」が56.6%と最も多かった。

②人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

9つの取組について聞いたところ、今年度新たに設けた項目「感染症に強い地域づくり」の満足度が35.6%と最も高く、今後優先すべき項目は「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が44.6%と最も多かった。

③幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

9つの取組について聞いたところ、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が満足度が21.2%、今後優先すべき項目が59.1%といずれも最も高かった。

(2) 男女共同参画社会づくり

①男女に関する役割などについて

8つの項目について聞いたところ、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」「現実として介護が女性の役割となっていると思う」のいずれの項目も「「そう思う」の回答は、依然として70%以上の高い割合であるが、前年度と比較すると、「家事」は1.2ポイント、「子育て」は2.0ポイント、「介護」は0.8ポイントと、それぞれ小幅ながら減少した。一方、「学校教育の場において男女差はないと思う」への「「そう思う」の回答が前年度から9.1ポイント減少し、「そう思わない」との回答が6.0ポイント増加した。

②男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策

8つの施策を提示したところ、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が60.5%と、3年連続で最も多かった。

(3) SDGs（持続可能な開発目標）の推進

①SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか

「聞いたことがある」は72.9%、「聞いたことがない」は26.0%であった。前年度と比較すると、「聞いたことがある」は43.0ポイントと大幅に増加し、「聞いたことがない」は42.9ポイントと大幅に減少した。

②SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか

「テレビ」が77.9%、「新聞・雑誌」が47.7%、「インターネット」が28.4%であった。前年度と比較すると、「テレビ」が29.4ポイント増加した。

③SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか

「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が53.4%と最も多く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が53.2%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が42.5%であった。前年度と比較すると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が9.9ポイント、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が8.5ポイント増加した。

④SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題

「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が47.7%と最も多く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が42.2%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が38.1%であった。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0推進計画～」に基づき鳥取県が推進する様々な取組例に関し、次のア～キの7つの分野ごとに、関心度（5段階）について質問した。

(※「関心度」は「かなり関心がある」と「少し関心がある」の計を記載)

ア 農林水産分野	イ 産業振興・働き方分野	ウ 観光・文化振興分野	
エ 医療・福祉・健康分野	オ 暮らし分野	カ 防災・減災分野	キ 学校教育分野

①7つの分野の中で、「防災・減災分野」の取組例への関心度が最も高く、次いで「学校教育分野」、「医療・福祉・健康分野」の順となった。

②防災・減災分野の取組例への関心度については、「衛星画像、IoTセンサーやドローン等を活用した自然災害時の迅速な状況把握と対応の強化」が70.2%で最も高く、学校教育分野は「サイバー空間において被害者や加害者にならないための情報モラル教育等の推進」が64.1%と最も高く、医療・福祉・健康分野は「オンライン技術を活用した遠隔医療等の環境整備」が62.5%と最も高かった。

3 今後の活用

アンケート結果は、庁内各課と共有し、各種会議のほか、今後の施策の立案や評価・見直し等の過程において基礎資料として活用する。